



こうべ文化芸術  
相談窓口

Kobe Culture and Arts  
Consultation Counter

# 事業報告書

令和3(2021)年度—令和6(2024)年度



# 目次

こうべ文化芸術相談窓口とは .....	1
開設の背景と経緯 .....	2
相談窓口・対面相談会 .....	3
相談実績 .....	4
相談事例と対応の事例 .....	5
情報発信 .....	6
勉強会・交流会(座談会) .....	7
ワークショップ実施者募集と実績 .....	9
アート展示出展者募集と実績 .....	13
相談内容が発展して実施された公演のケース .....	15
おわりに .....	16



# こうべ 文化芸術 相談窓口 とは

こうべ文化芸術相談窓口は、令和3年(2021年)11月の開設以来、神戸で活動するアーティストが抱える悩みや課題に対し、無料で相談できる専用のサポート窓口としての役割を果たしています。

また、アーティストが自立的に活動を継続できるよう、文化に関する情報発信や人材育成など、多角的な取り組みを通じて支援を行っています。

## 相談窓口

助成金に関すること、イベントの広報・宣伝の方法、企画書や提案書の作成方法など、さまざまなお相談に対して、専門家と連携しながら情報提供や助言を行っています。



文化芸術活  
取り組みの紹  
イベント情報な  
一斉配信してい



## 開設の背景と経緯

令和2年にCOVID-19の影響により、多くのアーティストが発表や制作の機会を失いました。

そこで、神戸市と公益財団法人神戸市民文化振興財団は、文化芸術活動の継続を支援するため、「頑張るアーティスト！チャレンジ事業」を開始しました。

この事業では、個人のアーティストに最大10万円、団体に最大100万円の補助金を交付し、新たな取り組みの企画や活動の場づくりを応援しました。

チャレンジ事業後のアンケートにおいて、「今後どのような支援を受けられるのか」「支援をどう活用すればよいか」「そもそも制度がよくわからない」といった、支援制度への申請に至らない声が多数寄せられたことから、令和3年9月にアーティストや事業者向けのオンライン相談窓口「行政支援獲得サポーター」を開設しました。相談は神戸市公式アカウントLINEの友だち登録から予約が可能で、支援内容に詳しい人材や申請経験者が相談者とオンラインでつながり、適切な助言を行いました。

さらに令和3年11月8日には、COVID-19の影響で活動の場が減っている地元アーティスト等の文化芸術関係者を対象に、より広く支援制度の活用方法や企画・広報に関する助言などを行うため、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を神戸市と連携して開設しました。

これらの取り組みを通じて、神戸における文化芸術活動が、より豊かで持続的に発展していくことを目指し、相談窓口の開設および運営を行っています。

# 3

## 人材育成

活動に役立つ勉強会や、アーティスト同士のネットワークを広げる交流会を開催することで、アーティストが長期的に活動を続けられる環境を整え、将来の文化芸術を担う人材の育成につなげています。



# 4

## 支援事業

ワークショップや展示を通じて、アーティストに活動の場を提供するとともに、市民との交流を促し、地域とのつながりを育む取り組みを行っています。



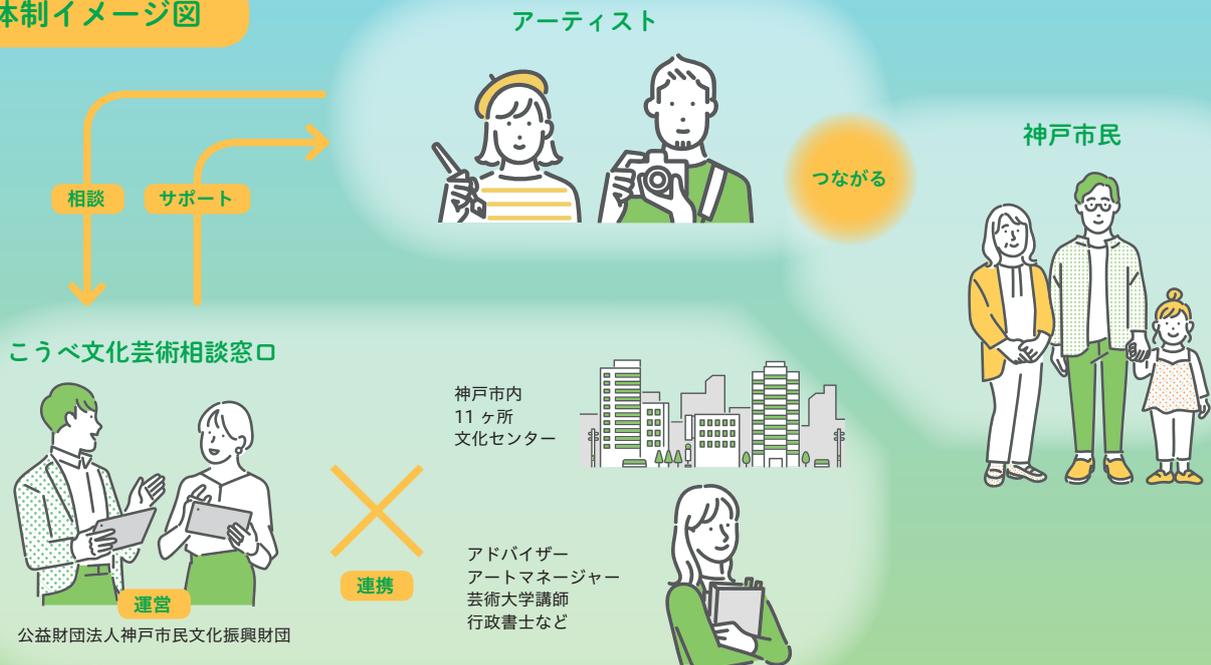
# 2

## 情報発信

活動を支援する各種制度・紹介や、相談窓口が主催するなどを、メールマガジン形式でします。



### 体制イメージ図



# 活動内容の詳細

## 1 相談窓口

助成金に関すること、イベントの広報・宣伝の方法、企画書や提案書の作成方法など、さまざまなご相談に対して、アートマネージャー、芸術大学の講師、行政書士などの専門家(アドバイザー)と連携しながら、相談内容に応じた情報提供や助言を行っています。

### ア 相談の流れ

こうべ文化芸術相談窓口のホームページから、**24時間いつでも無料**でご相談いただけます

メールでのご連絡となりますので、**ご都合の良いタイミング**でご相談いただけます

やり取りを重ねながら、**お困りの点やご不安な点を一緒に整理**いたします

必要に応じて、文化芸術活動に精通した**アドバイザーによる助言**もご活用いただけます

ご相談の内容に応じた情報をご提供しながら、**文化芸術活動の支援**を行っています



こちらからご相談いただけます

こうべ文化芸術相談窓口ホームページ  
<https://www.kobe-bunka.jp/soudan/>



## 対面相談会

「メールだけではうまく相談内容を伝えられない」「まずは話を聞いてほしい」——

そんな声にお応えして、文化芸術活動に関するお悩みを直接ご相談いただける機会を設けています。文化芸術活動を続けたいけど、ちょっとした困りごとがある。モヤモヤした気持ちを整理したい。そんなときは、文化芸術に詳しいアドバイザーと直接お話ししてみませんか。

対話の中で活動のヒントや、新しいアイデアを模索していきます。

### ◆開催実績

日時	令和6年10月10日(木)
会場	神戸文化ホール
アドバイザー	和田 大資(公益財団法人箕面市メイプル文化財団)
参加者	3名(各45分)



## ① 相談実績

### ◆ 対応件数

(件)

年度	対象期間	アドバイザーに 助言を求めた件数	相談件数 (総数)
令和3年度(途中)	令和3年11月8日～令和4年3月31日	14	35
令和4年度	令和4年4月1日～令和5年3月31日	7	79
令和5年度	令和5年4月1日～令和6年3月31日	4	47
令和6年度	令和6年4月1日～令和7年3月31日	7	58
合 計		32	219

### ◆ 分野別相談件数

(件)

分野	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
音楽	13	32	22	23	90
演劇	2	5	0	4	11
バレエ・ダンス	2	11	2	4	19
書画・美術・造形	15	23	11	10	59
伝統芸能・文化	2	16	2	2	22
文学	0	3	3	0	6
映像	1	1	1	3	6
その他	2	11	12	12	37
合 計	37	102	53	58	250

※1件の相談に複数の内容が含まれている場合があるため、相談対応件数とは一致しません。

### ◆ 相談類型別件数

(件)

相談類型	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合 計
活動拠点	7	19	12	20	58
広報・後援依頼	7	21	7	16	51
事業計画・活動計画	9	18	18	17	62
資金計画	1	11	4	10	26
補助金・助成金申請	6	40	13	20	79
教室・講座	0	17	5	15	37
パートナー探し	0	7	4	4	15
その他	5	12	13	6	36
合 計	35	145	76	108	364

※1件の相談に複数の内容が含まれている場合があるため、相談対応件数とは一致しません。

## ⑤ 相談事例と対応の事例

寄せられたご相談と対応事例を一部紹介します。

### ▶ 公演の企画と集客について

公演の企画・準備を進めておりますが、集客が思うように伸びず、資金面でも厳しい状況が続いています。このままでは次回開催が難しくなる可能性もあり、集客や資金調達について何かできることがないでしょうか。

#### 相談窓口の対応

企画内容を改めて確認し、趣旨と対象を明確化していきました。

企画のターゲットを定めることで企業協賛を求める際、内容に具体性が生まれ、企業側のメリットも伝えやすくなります。広報の方向性がぶれないよう、「誰に何を届けたいか」を整理する重要性も共有しました。あわせて、助成金制度の案内や広報先の提案もおこないました。

### ▶ 海外アーティスト招聘と法人化について

海外アーティストを招いて、個人でコンサートを企画・開催しようと考えています。実現に向けて、どのような点に留意しながら準備を進めるべきでしょうか。また、海外からアーティストを呼ぶ場合、主催者として法人化した方が望ましいのでしょうか。

#### 相談窓口の対応

ビザや入国手続きに関する情報提供、公演中止や事故に備えたイベント保険の加入について助言しました。また、どのような公演を構想されているかを伺ったうえで、法人化が望ましいケースと、個人でも対応可能なケースについてご案内しました。

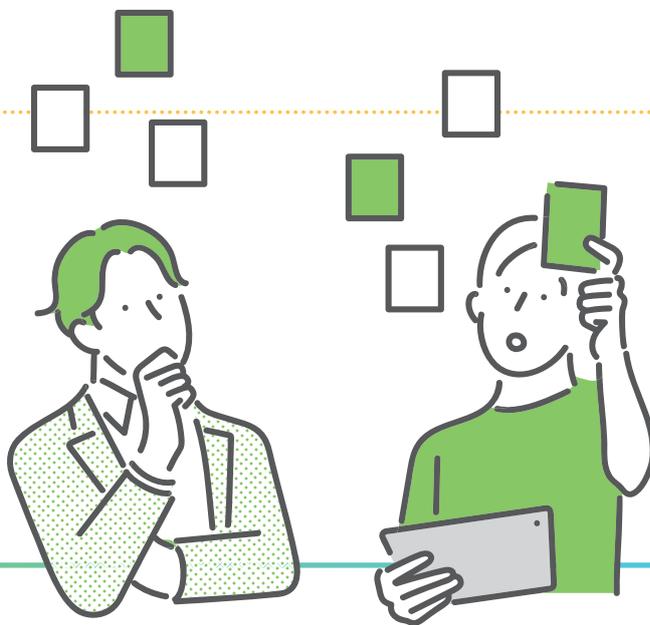
### ▶ 仕事と文化活動の両立について

高校を卒業後、アートを仕事にしたいと考えており、情報収集中です。アートの展示や販売、子ども向けのワークショップ開催などを通じて、表現活動を広げていきたいという想いがあります。加えて、海外を拠点に活動しながら、表現の幅を広げたり、美術系の大学に通うことも視野に入れていきます。

ただ、具体的に何から始めて準備を進めていけばよいかわかりません。

#### 相談窓口の対応

「何をやりたいのか」を明確にし、それを実現するまでのプロセスを一つ一つ書き出してみるよう助言しました。そのうえで、優先すべきことと、今は取り組まなくてもよいことを整理し、長期的な視点で計画を立てることを提案しました。目標達成までに必要な期間を見積もりながら、実際に海外留学の経験があるアドバイザーの助言を交えて、相談対応を行いました。



## 2 情報発信

令和4年7月より、神戸で活動するアーティストが継続的に活動できるように支援することを目的として、各種助成制度や公募情報を収集し、応募条件などの詳細を添えて、メールマガジン形式で一斉配信しています。

### ◆メールマガジン配信回数

年度	回数
令和4年度	8
令和5年度	16
令和6年度	16



こんな情報をお届けしています！

- ① 神戸市などの文化助成金情報
- ② 相談窓口が主催するイベント情報
- ③ 文化芸術活動を支援する各種制度や取り組みの紹介

文化芸術活動に役立つ情報を、わかりやすくお届けしています。

### ご登録方法

どなたでも「こうべ文化芸術相談窓口」のホームページからメールマガジンにご登録いただけます。



神戸の文化を発信する

## 神戸C情報

KOBE CULTURE INFORMATION

こうべ文化芸術相談窓口を開設する神戸市民文化振興財団は、市民参加型の情報サイトを運営しています。神戸C情報は、神戸・阪神～姫路エリアの芸術文化イベントがまとめて見られる情報サイトです。公演、展覧会など文化芸術に関するお出かけ情報をお探しの方はもちろん、自分のイベントを知ってほしい・広報したい方からの情報提供もお待ちしています。



<https://www.kobe-bunka.jp/c/>

## 3 人材育成

### 勉強会・交流会(座談会)

アーティストが長期的に活動を継続できる環境を整えることを目的として、勉強会や交流会の開催を通じた支援を行っています。勉強会では、アーティスト活動に役立つ知識やスキルの習得を支援し、交流会では、他のアーティストとのネットワークづくりや情報交換の機会を提供しています。



令和4年度

### ショートレクチャー&座談会 「こまっとおこと話ませんか？」

#### 講師

橋本 玲子(行政書士)

和田 大資(公益財団法人箕面市メイプル文化財団)

#### ファシリテーター

須藤 晃司(公益財団法人神戸市民文化振興財団)

**目的** アーティストが文化活動を行う際に直面する課題やニーズを把握し、必要な知識を提供することを目的として実施しました。

**内容** 専門家による「契約書の見方と著作権」に関するショートレクチャーと、参加者同士が悩みを共有する座談会「こまっとおこと話ませんか？」を開催しました。

**参加者からの声** 「実務に役立つ内容でした」「同じ悩みを持つ人と話せて安心しました」などの意見が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



**開催日時** 令和4年11月17日(木)13時半～16時

**会場** 中央区文化センター 会議室1108 **参加者** 7名

令和5年度

## 勉強会「伝わる企画書とポートフォリオ」

### 講師

衣川 絵里子(西宮市フレンテホール)

和田 大資(公益財団法人箕面市メイプル文化財団)

**目的** 相談窓口において、活動の目的や展望を口頭でしか伝えられないアーティストが多く見られたことから、「伝わる企画書とポートフォリオ」をテーマに、表現活動を適切に伝えるための学びの場を設けました。

**内容** 活動の魅力や意図を的確に伝えるための重要なツールである企画書とポートフォリオについて、その意義や作成基本の実例を交えて解説しました。

**参加者からの声** 「具体的なポイントが分かりやすかった」「自分の活動を見直すきっかけになった」などの声が寄せられ、実践的な学びの場となりました。



**開催日時** 令和5年7月8日(土)14時～16時半

**会場** 中央区文化センター 会議室1001

**参加者** 21名

令和6年度

## 勉強会「企画整理とチラシデザインのコツ」

### 講師

小笹 雄一郎(NPO法人シミズシーズ)

**目的** 広報に関する相談が多く寄せられたことを受け、広報手段のひとつであるチラシに着目し、チラシ作成の前提となる企画整理とあわせて学ぶ機会を提供しました。

**内容** チラシ作成に先立ち重要となる「企画整理」について説明したうえで、「企画整理のポイント」を解説し、さらに「チラシデザインのコツ」について基礎から実践的な内容まで学ぶ場となりました。

**参加者からの声** 参加者からは「広報の考え方が整理できた」「チラシづくりの具体的なポイントが分かりやすかった」などの意見が寄せられ、広報力の向上に役立つ内容となりました。



**開催日時** 令和6年9月7日(土) 13時半～16時半

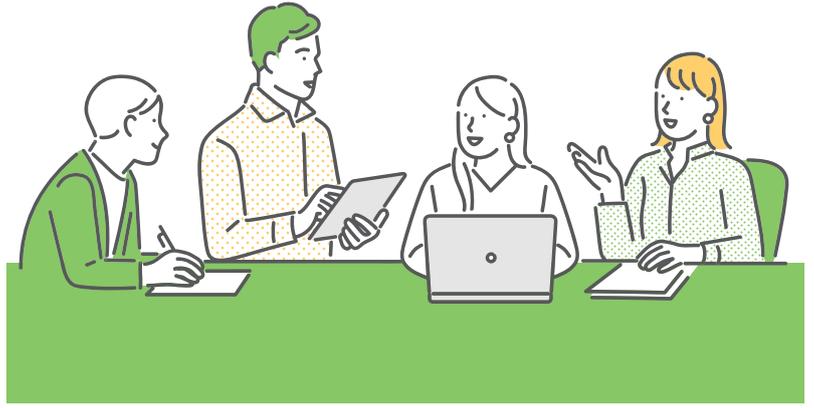
**会場** 中央区文化センター 会議室1103・1104

**参加者** 27名

## 4 支援事業

### ア ワークショップの実施者を募集

神戸市内の文化センターを会場にワークショップを開催することで、地元アーティストの認知度向上や創作活動の支援に加え、市民との交流を通じて新たな表現や発見を促す場としての役割も果たしています。また、市民が気軽に文化芸術に触れられる機会を提供することも目的とし、文化センターと連携しながら、アーティストと地域とのつながりを深める取り組みとして進めています。



募集期間	令和5年度:7月18日(火)～8月16日(水)
	令和6年度:5月7日(火)～5月17日(金)

令和5年度は、次世代を担う子どもたちが芸術文化に親しみ、感受性や創造性を育むことを願って、「子どもを対象としたワークショップ」を実施しました。

令和5年度

## Suki×2 STAMP!!

講師

田村 彩子・桑原 愛

「アートに触れていつもと違うワクワクを体験しよう!」をテーマに、2人のアーティストの作品から抜き取った“形”を用いたスタンプを組み合わせ、オリジナルのトートバッグを制作するワークショップを実施しました。参加者はスタンプを自由に配置しながら、自分だけのデザインを表現し、新しい視点で模様づくりを楽しみました。アートに触れることで生まれる発見や創造の楽しさを共有する、活気ある時間となりました。



開催日時 令和6年1月21日(日)10時半～11時半・13時半～14時半

会場 東灘区文化センター 陶芸芸室 参加者 38名

令和5年度

## こどもからおとなまでのしめる アフリカダンス&ドラム体験

講師

Aya

太鼓のリズムに合わせて体を動かすプログラムを通して、子どもから大人まで自然とリズム感やコミュニケーション力が育まれ、心身ともにリフレッシュできる時間となりました。最後には参加者全員でアフリカダンスの発表を行い、会場は一体感と笑顔に包まれました。叩いて、踊って、全身でアフリカのリズムを楽しむ、活気あふれるワークショップとなりました。



開催日時 令和6年3月17日(日)13時半～14時半

会場 中央区文化センター 多目的ルーム

参加者 49名

令和5年度

## 消しゴムはんこをつくろう！

講師

みやけまさよ

身近な“消しゴム”を使って自分だけのはんこを作るワークショップを開催しました。日常の素材を使うことで、誰でも気軽に表現の楽しさに触れられる内容となりました。消しゴムを彫る工程では、工夫次第で表現が広がることに驚きの声も上がり、参加者の笑顔から、『うち』での創作にもつながる一歩を後押しできたと感じました。



開催日時 令和6年3月24日(日)10時15分～12時

会場 中央区文化センター 陶芸芸室

参加者 9名

令和6年度は、幅広い世代がワークショップに参加できるよう拡大、多様な分野で活躍するアーティストを募集しました。

令和6年度

## 役者テクニックをスピーチに活かす

講師

あきひと

役者としても活動する講師を迎え、朗読（動読）やシアターゲームを通して、言葉と身体を使った“伝える力”を学ぶワークショップを実施しました。実践的なプログラムを体験し、表現の幅を広げる時間となりました。「話し方を見直すきっかけになった」「身体を使うと伝わり方が変わる」といった声も寄せられ、日常のコミュニケーションにも活かされる学びの場となりました。



開催日時 令和6年11月22日(金)18時半～20時

会場 中央区文化センター 多目的ルーム

参加者 16名

令和6年度

## 「深海ダンス図鑑」こどもワークショップ つくる！うごく！

講師

高瀬 瑤子・長野 里音

プロのダンサーと一緒に、まねっこダンスや3本足ゲームなど、全身を使った遊びをおこない、子どもたちは深海の生き物になりきりながら自由に身体を動かしました。ワークショップを通して、子どもたちは身体表現の魅力に触れ、想像したものを自分の動きとして形にする貴重な機会を得ました。今後もこの経験が、子どもたちの創造的な活動の広がりにつながることを期待されます。



開催日時 令和6年12月1日(日)14時～15時

会場 灘区文化センター 大会議室

参加者 8名

令和6年度

## 「笑い」による「健康」体験講座 『狂言ってなあに？』

講師

善竹 忠亮(能楽師 大蔵流狂言方)  
牟田 素之

伝統芸能「狂言」をテーマに、所作を体験しながら、健康的な身体づくりにも役立つポイントを学ぶワークショップを開催しました。約700年受け継がれてきた動きを取り入れ、参加者からは「初めてでも楽しく学べた」との声が寄せられました。笑いを交えた体験を通して、狂言の魅力と健康効果を実感できる時間となりました。



開催日時 令和7年2月8日(土)14時～15時

会場 東灘区文化センター 多目的ホール

参加者 16名

令和6年度

## 障がいがある人もない人も 『親子でいろんな楽器を鳴らしてみよう』

講師

るんるんパネラー

ふだん触れる機会の少ない楽器に触れながら、親子の会話や交流が自然と生まれ、会場は和やかな雰囲気になりました。声楽家による歌や小さな人形劇も好評で、子どもたちの笑顔があふれていました。最後は全員で合奏し、音を合わせる喜びを共有して、音楽の楽しさを分かち合う場となりました。



開催日時 令和7年3月29日(土)10時半～11時半

会場 北神区文化センター 多目的ホール室

参加者 19名

## ① アート展示「C + Kobe」出展者を募集

美術アーティストに作品展示の機会を提供するとともに、市民の皆様が気軽にアートに触れられる場を設けています。神戸市内の文化センターで展示を行うことにより、アーティストと市民の交流を促進し、地域とのつながりをより一層深めることも目的としています。

募集期間	令和5年8月1日(火)～令和6年8月31日(木)
	令和6年9月9日(月)～令和6年9月19日(木)

会場 中央区文化センター ラウンジ

令和5年度

### 第1回アート展示「C + Kobe」

展示期間 令和6年2月2日(金)～2月13日(火)

出展者 NIRO

タイトル OLD NEW 2

長く受け継がれてきた物語をもとに、作家が独自の視点で再解釈した、兵庫に伝わる民話をテーマとした作品を展示しました。



展示期間 令和6年2月16日(金)～2月27日(火)

出展者 Bamboo Fam.(稲岡 玄大・荻内 啓介)

タイトル 自然からの贈り物  
～竹で伝える喜び～

竹林整備の過程で生まれた竹を活用し、伝統的な竹灯籠や手作りのアクセサリーを展示しました。



令和6年度

## 第2回アート展示「C + Kobe」

展示期間 令和7年2月5日(水)～2月20日(木)

出展者 勅使河原 恵( blanco )

タイトル 水の色

日常の風景から受けたインスピレーションをもとに、心の風景を水彩で表現した作品を展示しました。



展示期間 令和7年2月27日(木)～3月13日(木)

出展者 岩崎 ナギ

タイトル 神戸市展大賞記念個展

2024年こうべ市民美術展で「神戸市長賞」を受賞した作品をはじめ、多彩な水彩画作品を展示しました。



第1回アート展示  
「C + Kobe」展示案内

create  
challenge  
connect  
culture  
continue  
claim  
comfortable +11+

こうべ文化芸術振興部 サポート事業 アート展示  
シーブラスエコーブ  
**C + Kobe**

神戸の文化芸術振興の推進機関。こうべ文化芸術振興部は、アーティストの作品展示の機会を提供しています。毎週神戸市立中央区文化センターを会場として、市民の目にアートが身近に感じてもらえるような展示を行います。

会場 神戸市立中央区文化センター (10階) [入場無料]

展示期間 令和6年2月2日(金)～2月13日(水)

OLD NEW 2  
NIRO

NIROは、新しい視点から見た作品の展示です。現代アートと伝統文化の融合をテーマに、市民の目にアートが身近に感じてもらえるような展示を行います。

展示期間 令和6年2月16日(金)～2月27日(水)

自然からの贈り物 ～竹で伝える喜び～  
Bamboo Fam. バンブーファム

竹の持つ自然の恵みを、その自然の恵みである竹の葉をテーマに、市民の目にアートが身近に感じてもらえるような展示を行います。竹の葉をテーマにした作品を展示し、自然の恵みを伝える機会を設けます。

主催 こうべ文化芸術振興部(主催) 協賛 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター C.A.P. 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター

第2回アート展示  
「C + Kobe」展示案内

create  
challenge  
connect  
culture  
continue  
claim  
comfortable +11+

こうべ文化芸術振興部 サポート事業 第2回 公開展  
シーブラスエコーブ  
**C + Kobe**

神戸の文化芸術振興の推進機関。こうべ文化芸術振興部は、アーティストの作品展示の機会を提供しています。毎週神戸市立中央区文化センターを会場として、市民の目にアートが身近に感じてもらえるような展示を行います。

会場 神戸市立中央区文化センター (10階) [入場無料]

展示期間 令和7年2月5日(水)～2月20日(木)

水の色  
blanco 勅使河原 恵

日常風景から、インスピレーションを受け、心の風景を水彩で表現した作品を展示しました。水彩の透明感と色合いを活かし、自然の美しさを表現しています。

展示期間 令和7年2月27日(木)～3月13日(木)

神戸市長賞記念個展  
岩崎 ナギ

2024年こうべ市民美術展で「神戸市長賞」を受賞した作品をはじめ、多彩な水彩画作品を展示しました。

主催 こうべ文化芸術振興部(主催) 協賛 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター 神戸市立中央区文化センター

## ⑨ 相談内容が発展して実施された公演のケース

令和6年度

### さくらこおねえさんの親子でミニコンサート

講師 さくらこおねえさん(うた)・仲本 雄平(ピアノ)

赤ちゃん連れのご家族でも安心して参加できる、ファミリー向けのやさしい内容でコンサートを実施しました。歌や手遊びを取り入れたプログラムを中心に、親子で一緒に楽しめる時間を提供しました。会場は終始あたたかな雰囲気に包まれました。



令和6年度

### さくらこおねえさんのファミリーコンサート

講師 さくらこおねえさん(うた)・仲本 雄平(ピアノ)・徳永 碧(フルート)

多目的ホール公演に参加できなかった方の声を受け、親子で楽しめるファミリーコンサートを開催しました。0歳から参加できるプログラムとして、生の歌声にピアノとフルートの演奏を加え、手遊びや歌を交えたやさしい雰囲気に包まれた時間となりました。会場は終始笑顔にあふれ、多くのご家族に喜ばれるコンサートとなりました。

開催日時 令和7年2月15日(土)10時半～11時半

会場 東灘区文化センター うはらホール

参加者 319名



## おわりに

2023年5月、COVID-19が「5類感染症」へと移行したことにより、長らく制限されていたイベントや公演が本格的に再開されました。オンラインを中心に実施されていた舞台や催しも、再び観客との対面交流が可能となり、文化活動の回復を実感する日々が戻ってきています。

一方で、コロナ禍において国や自治体を実施していた文化芸術への支援は段階的に終了し、多くのアーティストや団体は依然として厳しい状況に置かれています。

こうした背景のもと、「こうべ文化芸術相談窓口」では、アーティストが自ら持続的に活動を続けられるよう、さまざまな取り組みを展開しています。専門家と連携した相談窓口の設置をはじめ、情報提供や助言を行うほか、アーティスト向けの勉強会や交流会、神戸市内の文化センターとの連携による公募型ワークショップやアート展示などを通じて、学びと交流の機会、新たな活動の場の創出にも積極的に取り組んでいます。

今後も、これらの取り組みを通じて、地域の文化芸術活動に関する情報や知見、ネットワークを蓄積し、神戸の文化芸術の振興と発展に寄与してまいります。

皆さまの文化芸術活動が、より豊かに、そして持続的に発展していくよう、スタッフ一同、心を込めて運営に努めてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こうべ文化芸術相談窓口



## 事業報告書 令和3(2021)年度—令和6(2024)年度

2026年3月発行

企画・編集 こうべ文化芸術相談窓口

デザイン 服部プロセス株式会社

発行: こうべ文化芸術相談窓口(公益財団法人神戸市民文化振興財団)

MAIL: kbbunkasp@kobe-bunka.jp URL: <https://www.kobe-bunka.jp/soudan/>

